



煎茶早栢南

全

79
439



来。事小あつて曰。これ故の書業翁言。遊介居士
なり。海海後存の剛堂叔師を神小。保然として机
上あり。てて以て改定す。事。居士ハ

お朝。書業の中興なり。足利。業。其の信流おちる言
を傷て。杖地の志。切りし。急も。又一朝おあつた
むるであつ。よし。志のし。一特して。書業をもちあ
る。居士の法風おせん。又可なり。す。事。も。より
そ。及。ま。る。を。ち。て。樂。を。あ。つ。た。と。思。は。れ。居。士。の。背
像。を。見。て。忽。然。と。して。な。り。と。あ。ま。し。き。お。あ。つ。て

志を交し。書業を捨て。書業はあつ。今已る
十有金平あり。び。え。る。ま。り。お。世。習。お。流。り。し。て。風流の
人。書業をもち。ま。り。ま。り。の。雅。流。を。慕。ふ。もの。水
のひき。お。乾。ぐ。こ。し。これ。も。も。作。入。の。お。ま。い。お。自。の。書。具。
書。法。の。ま。原。お。こ。し。お。す。て。先。世。の。教。書。人。書。業。
の。ま。ま。を。あ。つ。す。中。法。風。改。言。書。業。仕。用。集。書。業。
お。お。ち。る。世。お。こ。り。ま。る。も。向。上。し。て。初。心。の。人。の。一
見。お。解。し。し。この。故。お。道。華。お。提。して。事。が。度。中。書。業。
と。書。業。の。法。具。を。書。し。と。書。法。の。ま。原。十。一。二。を。と。る

此の人の、たゞり、も、と、を、あ、ひ、て、こ、も、の、雅、俗、か、
 り、ず、な、れ、ど、あ、ら、う、の、め、い、か、ぬ、あ、も、あ、く、あ、ま、り、く、
 お、神、さ、り、い、あ、い、い、ま、こ、な、い、い、い、い、い、い、い、
 人、の、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、
 幸、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

音茶高遊外老翁之像

有
 姓
 印



唐水



○山形斗ハ陸奥の葉經平鳥府といひて。すはあれたるあかしの
こまかす。今もあまねくあつちいさまを好く用ひる。ね葉目をあてこれを
うる。兄弟の点葉を用ひてをあつたす。

○葉置やまき 火著ひざハ葉置のあつちい。只あつちい葉置を用ひ
ひをあつちいす。ね葉をす。

○は勝床はかつとハ点葉のあつちい。ね葉のあつちい。ね葉のあつちい。ね葉のあつちい。
あり。ね葉のあつちい。

○根まげ藍うろこハね葉のあつちい。ね葉のあつちい。ね葉のあつちい。ね葉のあつちい。
よけりて。ね葉のあつちい。ね葉のあつちい。ね葉のあつちい。ね葉のあつちい。

先か——直かぬえぬかひもなし。茶の香もあつりして
雅有り。茶葉も茶枝も花の葉は蓋の蓋は茶葉の葉は
り。葉は茶葉の中へ。漏りしれてのむらり。茶の
品茶葉要深しゆまもい。茶のいも入雑と。茶のいも
りなり。とあまを。茶の賜る大か種。茶のいも
元をのりてあまを。茶のいも茶のいも茶のいも
ものいも。茶のいも茶のいも茶のいも茶のいも
茶のいも。茶のいも茶のいも茶のいも茶のいも
茶のいも茶のいも茶のいも茶のいも

附言

○茶葉のいも茶のいも茶のいも茶のいも
あり。後進同好の茶のいも茶のいも茶のいも
○ついで茶のいも茶のいも茶のいも茶のいも
茶のいも茶のいも茶のいも茶のいも
○茶のいも茶のいも茶のいも茶のいも
人なは。茶のいも茶のいも茶のいも茶のいも
茶のいも茶のいも茶のいも茶のいも
あつり。茶のいも茶のいも茶のいも茶のいも

法てむ佳思なり

○此種宋光帝の系に、名神花園の装束同くして又元佳思なり。いふふ中上装の系と銘で、氣味佳なり。を遠く。あやもにもの結絶るものなり。着れ

○有る白林寺。毎座座様系と装束なり。と銘ふやめて、山ふちす。あもすこむるをなり

右四系ハ、我皇同好の法系なるを。地蔵の人、地蔵の人様ありて、装法を同じぬ

○本朝にて、葉と着すものあり、山蔵の玉

字源の里あり。あれも。葉系をめてハ、むりり近所の信来を。天下第一と銘はあり。そ賜給も字源行来。この上葉とあす。建溪。お花も。おとす。現言。をあれ

○信来の上系あり。言々の比や。あはれも葉の終ハ。あは。お花。ゆの。花橋おなり。今ハ終も。お上りより。ゆんごり。彩路と銘す。又、お花の君よありて。求も。路もあり。と品目ハ。あはれも。葉系おありハ。むりふ。いふ。お花。あは。○故人すて。信来と書せ。れ。あは。信来の下かあは

八。新。の。あ。も。か。と。し。ず。こ。り。も。ま。ふ。と。派。あ。る。な。か。は。い。ぬ。あ。り。
 ○。わ。た。り。あ。る。あ。の。は。ま。と。あ。さ。の。い。も。の。あ。た。れ。も。か。中。本。可。
 十。丁。目。法。の。長。同。七。丁。目。別。法。今。も。い。こ。れ。を。考。え。
 右。の。板。料。い。と。る。の。事。後。ら。を。た。入。の。人。の。い。ふ。
 こ。の。あ。ま。り。の。あ。り。

尾張名古屋書肆
 東壁堂製本畧目録記
 白人一首之部
 艶玉百人
 水樂百人
 花蝶百人
 棲鳳百人
 蓬萊百人
 今様百人
 吾妻百人
 錦葉百人
 同寸珍本
 麗玉百人
 同寸珍本

尾張名古屋書肆	東壁堂製本畧目録記	白人一首之部
画譜繪手本之部	金氏画譜	水樂百人
北齋漫画	英勇画譜	花蝶百人
北溪漫画	浮世画譜	棲鳳百人
北雲漫画	英泉画譜	蓬萊百人
琉林漫画	一筆画譜	今様百人
蕙齋蘇画	福善齋画譜	吾妻百人
文鳳蘇画	浮世画手本	錦葉百人
神事行燈	初學画手本	同寸珍本
富嶽百景	武勇魁圖會	麗玉百人
北齋画譜	狂画苑	同寸珍本

和書之部	新古今集抄	五	將碁之部
本居宣長翁像	詞のうひ合鏡	二	將碁道標
地名字音轉用例	八日新日記	一	同指南車
源氏物語手枕	花のまろし美	一	同名家友
天祖都城辨	由をみの鏡	二	同金襖
御遷幸長哥	萬我の比禮	一	同階梯
歷朝紹詞解	尾張迺家芭	九	同鷲爪
古今集遠鏡	江戸職人哥合	二	同自在
美濃乃家芭	冠位通考	一	碁經之部
古事記傳	消息案文	一	碁經夾範
同 目錄	熱田縁起	一	碁經夾筥
神代正語	伊勢物語	一	碁立手談

神壽後釋	二	はろく草	二	詩集之部
玉勝間	五	三大考	一	日本詠物詩
直毘靈	一			暢園詠物詩
葛花	二	狂哥作者部類	一	蒙求標題詠
萬葉集畧解	三	誹書之部		金城白湯集
同 目錄	二	俳諧雀芝集	一	三野風雅
後撰集新抄	五	同 五七集	五	先友詩抄
同 別記	一	枇杷園發句集	二	寒林刪餘
		同 後編	二	晞髮偶詠
		同 七部集	十	日下新詠
三代調類題	六	同類題發句集	二	畸人詠
				金山稿

經書之部	今世說	石刻法帖之部
群書治要	傳子	子昂要雀帖
孝經鄭註	六諭衍義大意抄	同 羊公帖
同 指解		徂來大曆帖
劉向說苑	正面摺之部	廣沃樂得帖
同 纂註	王由敢寸瑜孝經	夫子廟堂碑
同 列仙傳	李邕沙羅樹碑	朱子風雪帖
服膺孝語	羲之周府君碑	宋七君子法帖
世說音釋	信海三十六哥仙	歐陽詢九成宮
左傳蒙求	道風草書帖	
物數稱謂	漢魏隸書帖	早見道中記
律數揚榷	渤海藏真帖	神術極秘卷

必翁茶史	二	東坡自我帖	同 算法之部
大學參解	一	同 大江帖	玉積通考
論語參解	五	同 歸去來詩帖	點竄指南錄
四書片假名附	四	董其昌天馬賦	開運塵劫記
文選李善註	十	同 衆鳥帖	新選塵劫記
星渚堂對問	一	同 秣陵帖	永樂塵劫記
毛詩國字辨	十	九疑山碑	算法工夫之錦
牧民忠告解	一	郭有道碑	周髀算經圖解
千字文約說	一	陋室銘	同 國字解
女工甲子	一	敬之字	
常語叢	二		萬室大通考
韓文起	十	十餘千字文	早引相場帳

佛書之部	字引節用之部	袋入赤本之部
圓光大師御傳畧贊 二	滿字節用錦字選 一	松綠高砂話 一
菩薩戒童蒙談抄 一	早字節用集 一	天竺德瓶譚 一
釈迦應化畧諺解 一	同 小木 一	今昔小町譚 一
永平道元行狀圖 二	同 真字附 一	昔語丹前風呂 一
觀音施無畏圖 一	同 大全 一	先讀三國小女郎 一
現生護念之圖 一	手紙早引集 一	朝茶湯一寸口切 一
宗門畧列祖傳 四		却說浮世之助話 一
圓戒琢磨記 一	天文中星風雨考 一	戀女房譬討双六 一
稽古御和讚 一	天文候鑑 一	一對男時花哥川 一
白隠施行哥 一	晴雨管規 一	同 後編 一
釜斯幾 一	晴雨考 <small>年出</small> 一	

西國三所觀音圖 一	年中曆講譯 一	瀨の真砂石川草紙 二
同 順禮哥 一		其寫繪戲佛 二
同 畧縁起 二	永樂古狀揃 一	躰草娘庭訓 二
閑居忘草 二	同 假名附 一	
唐土談語 一	初學古狀揃 一	中臣板正義 一
十善戒法語 一	同 假名附 一	教訓伊呂波哥 一
御經之部	永樂庭訓往来 一	小謡断全集 一
心經和訓鈔 一	同 假名附 一	道戲縁起 一
高王觀音經 一		永樂大雜書 一
因位和贊 一		古錢價録 一
菩提和贊 一	易道早合点 一	煎茶早指南 一
因果經 一	人相早合点 一	木石居煎茶訣 二

女今川貞操鑑	一	萬室年代記	一	通俗西湖佳話	四
繪本女今川	一	年代調法記	一	燒物出所	一
同庭訓往来	三				
同咲分勇者	二	松月堂百瓶	三		
同曾我物語	二			兼穗錄	四
同大江山	二	立花當用集	一	彼此台符	二
同義經記	一			大日本國郡全圖	二
同忠臣藏	一	諸禮大學	一	三河國全圖	一
同失的心	一			美濃國全圖	一
同孤嫁入	一	四季獻立集	一		
同名古屋於妃	一				
同公時一代記	一				

尾州名古屋本町通七丁目

永樂屋東四郎藏板

發行

書肆

江戸日本橋通二丁目
同 日本橋通二丁目
同 淺草茅町二丁目
同 日本橋通二丁目
同 芝神明前
同 兩國横山町三丁目
同 芝神明前
大坂心齋橋通北久太郎町
同 心齋橋通安土町
同 心齋橋通博勞町
同 心齋橋通安堂寺町
京都鞍屋町通姉小路七丁目
尾州名古屋本町通七丁目

須原屋茂兵衛
須原屋新兵衛
須原屋伊兵衛
山城屋佐兵衛
岡田屋嘉七
和泉屋金右衛門
和泉屋吉兵衛
河内屋喜兵衛
河内屋和助
河内屋茂兵衛
秋田屋太右衛門
俵屋清兵衛
永樂屋東四郎

